

編集/発行 小田原市立図書館 小田原市城内7 17 TEL0465 24 1055
かもめ図書館 小田原市南輔宮1 5 30 TEL0465 49 7800

e-mail : tosho@city.odawara.kanagawa.jp



冬の図書館はイベントがいっぱい！！

本のりさいくるフェア 開催

今年も「かもめ図書館フレンズ」と「小田原の図書館を考える会」の皆さまのご協力により、図書館で不用になった本や雑誌を無料でお持ちいただく「本のりさいくるフェア」を開催します。

日時：2月23日(日)

9時から16時(本がなくなり次第終了)

場所：かもめ図書館 2階集会室・創作室

当日は大変混雑が予想されます。

来館の際は公共交通機関をご利用ください。

かもめコンサート～未来を担う若き演奏家～

かもめ図書館に故石井歡さん(作曲家)愛用のピアノが寄贈されたことを記念して、小田原ゆかりの若手演奏家がコンサートを行います。

未来を担う若き演奏家の奏でる音色をお楽しみください。

日時：3月16日(日)

午後4時開演(午後3時45分開場)

場所：かもめ図書館視聴覚ホール

(事前申込：定員120名)

申込：かもめ図書館 49-7800

出演：ピーティ田代櫻(チェロ)

半澤佑果(ピアノ)

曲目：チェロソナタ(ラフマニノフ)ほか

駐車場が込み合いますので、公共交通機関をご利用ください。



「雑誌スポンサー」を募集しています

雑誌スポンサー制度とは、雑誌の購入費用(年間数千円から3万円程度)を負担いただき雑誌カバーにスポンサーの広告を掲載させていただく制度です。

雑誌最新号での広告は、多くの人の目に留まり、その分野に感心のある方に直接PRすることができます。

詳しくは図書館ホームページをご覧くださいか、職員にお問い合わせください。

どうもありがとうございます。

現在のスポンサーさん

『横浜ウォーカー』 株式会社カミケン

『ベビモ(baby-mo)』 baby&kidshoneybee

図書館総合歴史講座 「歴史災害と小田原」

小田原を襲った大地震というと大正12年(1923)の関東大地震を思い浮かべますが、江戸時代に小田原は周期的に4度大地震に見舞われていることをご存知ですか?

今回の講座では、これらの地震がどのようなものであったか。小田原城下にもたらした被害などを、最も甚大な被害があったとされる元禄地震を中心に、知られていないその実態に迫ります。

どうぞふるってご参加ください。

詳細は、広報「おだわらいふ2月15日号」などをご覧ください。

かもめ名画座

青春時代に希望を与え、勇気をくれた数々の名画、あの思い出の映画をお楽しみください。

【日時】2月21日(金) 13:30～

【場所】かもめ図書館視聴覚ホール(当日先着120名)

【作品】『陽のあたる場所』(1951年 122分)

上映の日は駐車場が込み合いますので、公共交通機関をご利用ください。

こども映画会

小さなお子さまも楽しめる題材の映画を上映します。

【日時】2月15日(土)午後2時~

【場所】市立図書館こどもクラブ室

・『世界名作童話全集(8)

ピノキオ ゆきの女王 かさじぞう』(32分)

【日時】2月22日(土)午後2時~

【場所】かもめ図書館視聴覚ホール(先着順:120名)

・『世界名作童話全集(6)

木こりときんのおの にんぎょひめ 一休さん』(33分)



セピア色の写真展2014

-小田原駅前と城址公園-

毎年ご好評をいただいている「セピア色の写真展」を今年も開催します。

昭和20~30年代の人々の生活を収録したフィルム「小田原よいとこ」から、高度成長前の小田原の様子をカラーでお楽しみください。

2月16日(日)まで

9:00~17:00 かもめ図書館2階集会室

3月19日(水)~4月4日(金)

8:30~17:00 市役所2階広報展示ロビー

3月21日~23日の3日間は、お休みです。



小田原駅(昭和30年)

文学資料の周辺

井上康文

小田原出身の詩人・井上康文(本名・康治)をご存じでしょうか。

明治30年(1897)に小田原町幸一丁目(現・小田原市本町)で生まれた井上は、東京薬学校(現・東京薬科大学)を卒業後、大正7年(1918)に同じく小田原出身の詩人・福田正夫らと雑誌『民衆』を創刊しました。

普通の人々の暮らしを詩の題材にした彼らは民衆詩派として注目され、井上は大正時代における最大の詩人団体「詩人会」に加わりました。また、自ら結社を立ち上げ、尾崎喜八や版画家の恩地孝四郎ら後進の育成にも携わりました。

その後井上は、昭和17年(1942)に海軍報道班員として南方に渡るなど、戦時中も精力的に活動しました。戦後はNHKラジオで作品が朗読され、産経新聞に競馬関係の記事を書くなど、幅広い分野で足跡を残しています。

小田原文学館では、昨年没後40年を迎えた井上の生涯や作品を紹介する特別展を今春開催予定です。

ご期待ください。

参考文献

『小田原市史 通史編 近現代』

『詩人 井上康文』

『神奈川県史 別編1 人物』



本の予約状況(2月3日現在)

順位	書名(著者名)
1	祈りの幕が下りる時(東野圭吾)
2	ホテルロイヤル(桜木紫乃)
3	海賊とよばれた男 上(百田尚樹)
4	夢幻花(東野圭吾)
5	永遠の0(百田尚樹)
6	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年(村上春樹)
7	海賊とよばれた男 下(百田尚樹)
8	疾風ロンド(東野圭吾)
9	とっぴんぱらりの風太郎(万城目学)
10	ペテロの葬列(宮部みゆき)

お願い:上記の本をお持ちで、読み終えてご不要になられた方は、ぜひ図書館にご寄贈ください。

情報発信コーナー/企画展示(市立)企画展示のコーナー(かもめ)

市立図書館(児童)

2月 かがくいひろし&斉藤洋

3月 芸術・美術の本

かもめ図書館(一般)

2月 アレルギー

3月 元気が出る小説

かもめ図書館(児童)

2月 昔話

3月 春